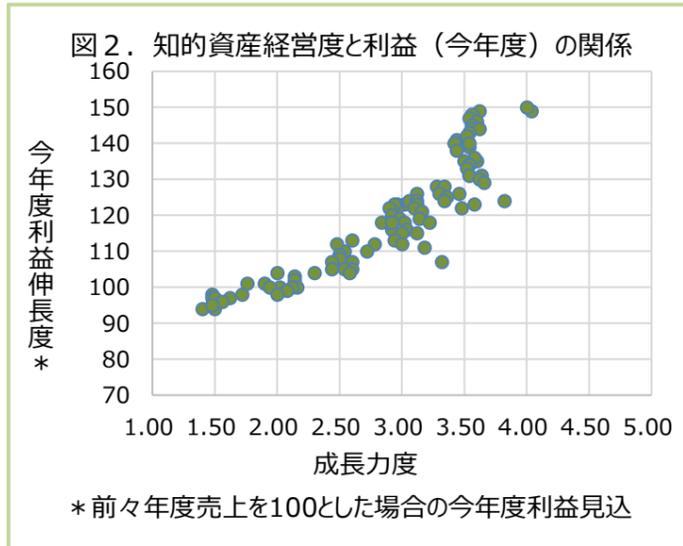
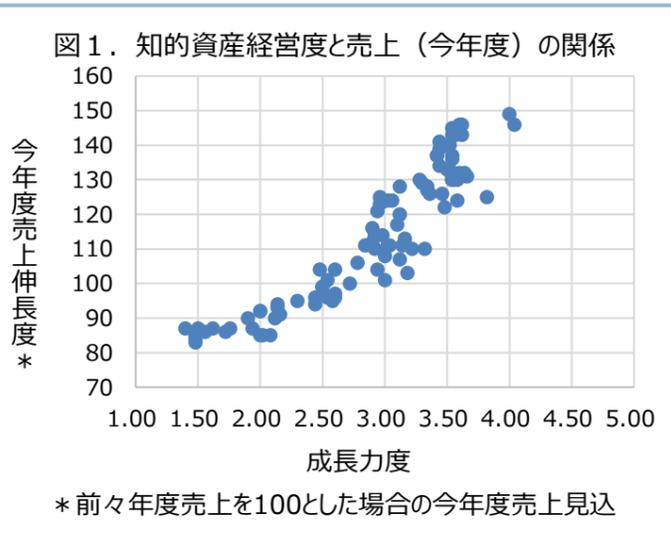


I. 総合分析

調査期間	2017年12月1日～2017年12月31日	回答数	100
------	------------------------	-----	-----

本調査結果から、経営資源（知的資産経営度）が高いほど、売上・利益伸長度が高いということが言えます。また、社員充足率（社員が足りているかどうか/採用がスムーズにしているかどうか）についても良い効果があると言えます。



解説
貴社の経営資源（知的資産経営度）得点は3.32となっています（表1参照）。図1、図2から成長力度が3.3程度の場合、売上・利益ともに伸長度が120を超える企業も存在します。貴社の値を考慮すると、売上・利益を向上する余地があると推察されます。

II. 個別分析

	御社	全社平均
総合	3.32(37)	2.90
関係資産	2.81(60)	2.86
組織資産	3.71(6)	2.90
人的資産	3.67(22)	2.96

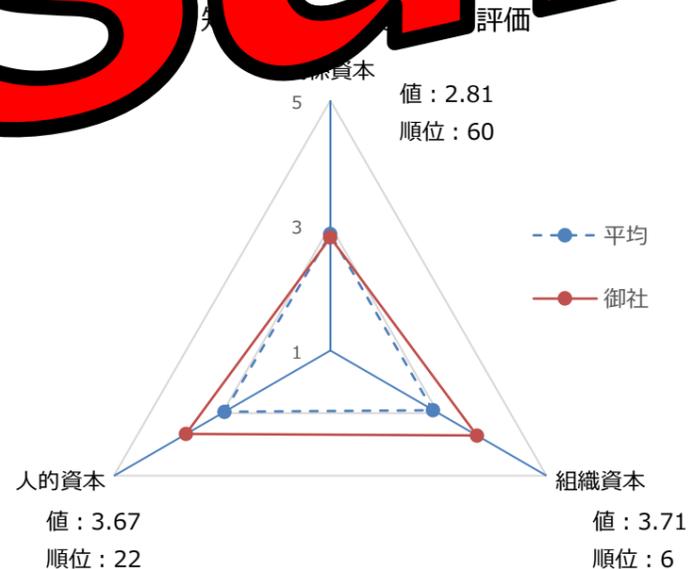
数値右の（）内の値は全体の順位

表1. 知的資産経営度

	前々年度	前年度	今年度
売上推移	100	101	110
利益推移	100	99	107
社員充足率	-	-	98

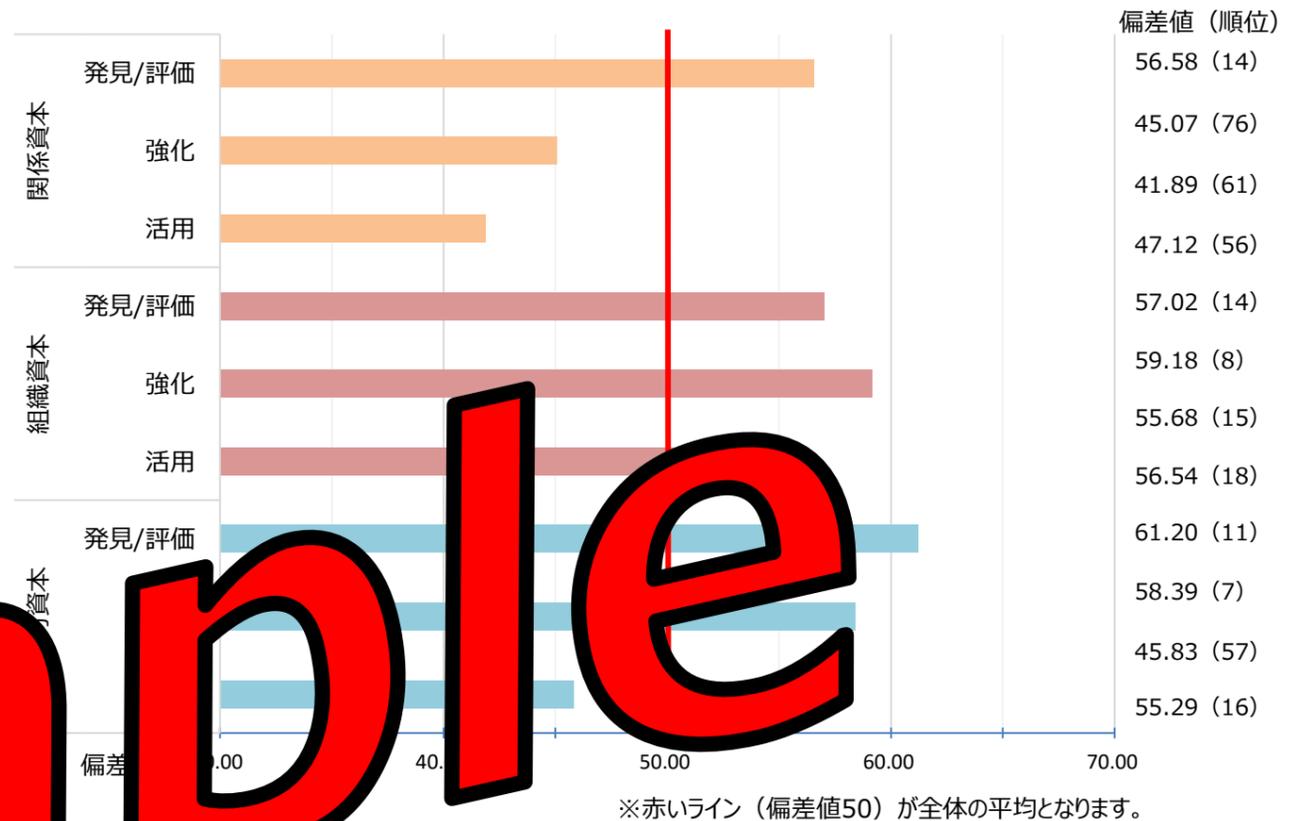
※前々年度を100として評価

表2. 貴社業績推移表



評価ランク	総合	B	関係資産	C	組織資産	A	人的資産	B
-------	----	----------	------	----------	------	----------	------	----------

図4. 知的資産経営度 -細分類別-



解説・ご提

総合的に見てみると、全社平均が2.90点のところ、御社の得点が3.32点、37位/100社と平均を上回っており、経営資源が多いと言えます。各分野ごとに見ていくと組織資本、人的資本は平均を上回り、特に組織資本については6位/100社となっており、今後の成長も期待できます。御社の業務プロセスなどレベルが高いことが推察されます。一方、関係資本に注目してみると、平均点をやや下回り、60位/100社となっております。細分類でいいますと、発見/強化には取り組まれています、強化や活用といった部分が弱いようです。人的資本における活用も全体平均を下回っています。総合的には比較的高いレベルで知的資産経営がなされています。このレベルをさらに向上し、業績アップにつなげるため、下記、分類別のご提案を参考にさせていただくと幸いです。

【関係資本】「発見/評価」の高得点に比べ、それ以外の部分で平均を下回っています。関係先とのネットワークやコミュニケーションがどういった状態かは把握できていますが、そのネットワークをより強固にし業績向上につなげるということが不足していると推察されます。まずは得意先、協力会社との関係を強固にするためにはどうしたらよいかを検討されると良いかと考えられます。

【組織資本】全体的に高い水準でまもっています。今後、さらなる向上を目指すためには、現在行われている活動を中長期的な期間でとらえ、全体のレベルを高めていくことをお勧めします。

【人的資本】「活用」がやや課題ととらえられます。御社が持つ人的な資本・財産を業績につなげるためにどうすればよいかを検討するのが良いと思われます。経営陣の能力や従業員、組織風土が業績とどう関係するかを考え、活用すること